

02. シングロニティ

作詞：みずたま 作曲 / 編曲：木下たまき

(ふわふわふわり ユラユラユラリ)

自転車でかけぬける いつもの坂で偶然出会う
「今はなにしているの？」 他愛もない会話がフワリ

少し揺らした スカートの裾が 不思議な旋律を奏でてる
昔とおなじ 澄んだ声に 戸惑うけど 惹かれていく

君の紡ぐメロディが この星空 響けば ほら
変わらないと思ってた 灰色の日々が
また少しずつ煌めいて 繋がるとよ

大切にしていたよ 君からたくさんメッセージ
見返すたびに胸が 苦しくなるだけだったのに

また僕の元 届く文字の中 無邪気な旋律が流れてる
今までの想い 繋がらそうな 未来にも 聴こえるかな

僕の描(えが)く景色に 君の胸が 高鳴るなら
届かないと思ってた 小さな勇気が
また少しずつ膨らみ 溢れ出すよ

届きそうな距離に ほんの少し触れ合う
君はすぐ忘れちゃうかも
空が笑い 月がのぼっていく そんな星空に

響いて ほら
変わらないと思ってた 灰色の日々が
また少しずつ煌めいて 繋がってゆくよ

03. オモヒ カゼ(想い風)

作詞 / 作曲 / 編曲：荒木一高

飛び立つ鳥 天(アマ)の風は 私を誘う
朝焼け なみの喧騒に 想ひ飲まれ

小さくうつむき 言葉を無くしてた
ただごただ伝えたくて 旋律を紡いだ

雨爛れずさぶる時も 今を信じ明日へ繋ぐ「希望」
儚い願いや夢 I can't lose it.
It make the future そう言い永久(トク)へ

一会(ヒトエ)対し(ツイシ)再縁(フタエ)
重なる想えし風の中で
淡えし碧(アオ)の音と 過ぎた時が 今を描く画となる
流れゆ雲 舞い降りた羽 ちいさな手の中で
That 's growing up 光となりて この海を越える

茜色空(ソラ)染める 触れた指 揺れた瞳
去りた影 薄ら薄れ 静寂へと。。。
別れを惜しんだ だけどまた巡り会う 約束のこの場所で

一会再思言ノ葉(ヒトエサイシコトノハ)かわず
ただ一人だけの君へ
見上げた星空の瞬きが先を照らす道となる
始まりの鐘鳴り響いた 遥かなる地平線へ
争いは朽ちて 月時計が鳴く。
続べなる想いを叶えて この海へ還る